

白石市で撮影したシーンも登場!



■発売元:株式会社デスベラード
■税込価格:4,935円

図書館・SFC共催
1日映画館『しろいし座』

第1回上映作品
『アヒルと鴨のコインロッカー』

入場無料

仙台市在住の伊坂幸太郎さん原作の作品を上映するほか、「せんだい・宮城フィルムコミッション」事務局の方をゲストに迎え、トークセッションを行います。なかなか聞かない映画制作の裏側などを知るチャンス!

- 日時 8月31日(金)
18:00~21:00(17:00開場)
- 場所 白石市情報センター「アテネ」
- 定員 50人(申し込み順)
- 申し込み方法 図書館と白石駅観光案内所に備え付けの申込書、または、応募専用メール(msfc@live.jp)で氏名と参加人数、駐車場利用希望をお知らせください。
※終了時間が21時ごろの予定となりますので、18歳以下の方は保護者同伴でお越しください。

みやぎ・しろいし
フィルムコミッション



〒989-0292
宮城県白石市大手町1-1
白石市役所 産業部商工観光課内
☎0224-22-1321 ☎0224-22-1451
Eメール film-c@city.shiroishi.miyagi.jp
ホームページURL
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/shoukan/film/

Staff

小野 祐子 Yuko Ono(Chief)
ジャパン・フィルムコミッション認定フィルムコミッショナー
白石市出身。東京の企画製作プロダクションでプロデューサーとして企業広告やキャンペーンなどを手掛ける。現場コーディネートの経験を活かし、白石のプロモーションをしていく。「市外に出たからこそ分かる街の魅力がたくさんあります。それを伝える役目をしていきたい」とふるさとへの思いを話す。



梅澤 綾子 Ayako Umezawa(Second)
ジャパン・フィルムコミッション認定フィルムコミッショナー
仙台市出身。仙台市のテレビ局で技術・製作アシスタントをするかたわら、仙台で撮影された映画にサポートスタッフとして参加するなど、これまでの経験とパイプを活かし撮影誘致を目指す。「自分もそうなのですが、住んでいる所の魅力は気付きにくい。客観的な目で見ても、白石の良さを引き出していきたい」と話す。



市民・事業者の皆さんへーエキストラ・サポーターに登録しませんか

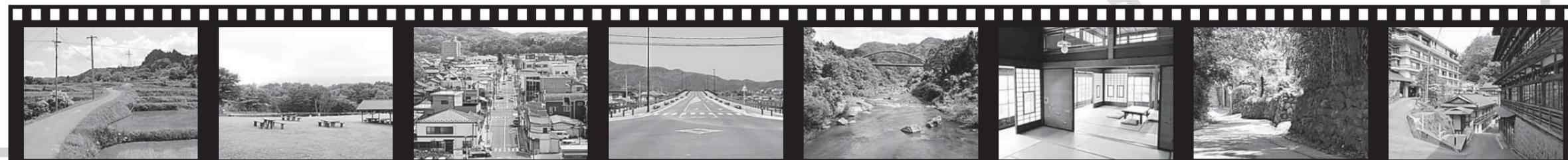
■エキストラ登録 ※詳細はホームページをご覧ください。
白石市内で映画やテレビ番組などの撮影が行われる際に、エキストラとして出演できる方を募集しています。

■サポートスタッフ登録
白石市内で映画やテレビ番組などの撮影が行われる際に、サポートスタッフとして撮影スタッフのお手伝いをしていただける方を募集しています。お手伝いを通して、撮影の現場の空気を感じることができます。

■撮影協力施設登録
自身が所有する土地や建物などを、映画やテレビ番組などの撮影に提供していただける方を募集しています。住宅や商店、工場、事務所、病院、田畑、空き地など、撮影ではさまざまなロケーションが要求されます。「映画やテレビ番組のワンシーンに」とご協力いただける方はご連絡ください。

お年寄りまで幅広い年代がエキストラとして参加したり、土地・建物などの所有者が快く撮影場所を提供したりと、市民の皆さんの協力が増せば、制作者も撮影に集中できます。また、映画に使われる場所は観光地だけではなく、むしろ、何気なく過ごしている白石から、いかに撮影に適したロケーションを発掘するかが重要となります。外部(制作者)への支援体制とともに、内部(市民・事業者など)の協力体制を整えていくことが今後の最重要課題です。

そして、撮影誘致は一朝一夕で実現するものではありません。本年度は、地道なPR活動とともに、白石の魅力や魅力を再発掘することに重点を置き、さまざまな撮影に対応できるロケーション素材の収集と、市民の皆さんが映像に触れる機会を多くするため、1日映画館『しろいし座』を今後定期的に開催していく予定です。



▲実際の撮影シーンを想像しながら、撮影に適したロケ地を探すSFCの小野祐子さん(右)と梅澤綾子さん(撮影場所:城下広場)

撮影誘致や支援を行い、映像の力で白石の魅力を全国に発信
「みやぎ・しろいしフィルムコミッション」始動!



「白石が舞台の作品」実現に向けて
地域の総合力で勝負

4月10日に設立された「みやぎ・しろいしフィルムコミッション(SFC)」が7月にホームページを立ち上げ、ロケ地情報の提供など本格的な活動をスタートさせました。

フィルムコミッションとは、映画やテレビドラマ、CMなどの撮影場所を誘致し、実際のロケーション撮影をスムーズに進めるための支援を行う非営利公的機関。撮影に関する一元的な窓口を担い、ロケ地情報の提供から公的施設の許認可調整などの支援を行う、いわば撮影のためのワンストップサービスを行う機関です。福岡県北九州市や長野県上田市などはいち早くFCを設立し、映画撮影の誘致に成功。映画ロケ隊の滞在などによる経済効果とともに、ロケ地観光目的の観光客集客による地域活性化などの効果を得ています。

現在、全国に100を超えるFCがあり、SFCは「せんだい・宮城FC」「石巻FC」に続いて県内3番目の設立。全国でFCが設立される中、制作者にいかにか白石の魅力を届けるかがカギとなりますが、成功自治体の共通点は、市民と行政が一体となって全力で撮影を支援していること、地域の全力支援が欠かせません。

例えば、子どもから

の効果をj得ています。本市では、市役所商工観光課内に専任スタッフと市職員を配置。設立から約3カ月、市内各地を回りロケーション素材などを収集してきました。また、8月からは、市内のサポート体制を整えるため、市民の皆さんや市内事業者の皆さんにエキストラや施設提供などの募集も呼び掛けていきます。